

おれんじニュース

No265

2012年4月号



多良山系・笹岳南峰にてマンサクの咲き始め・写真提供・中須賀氏

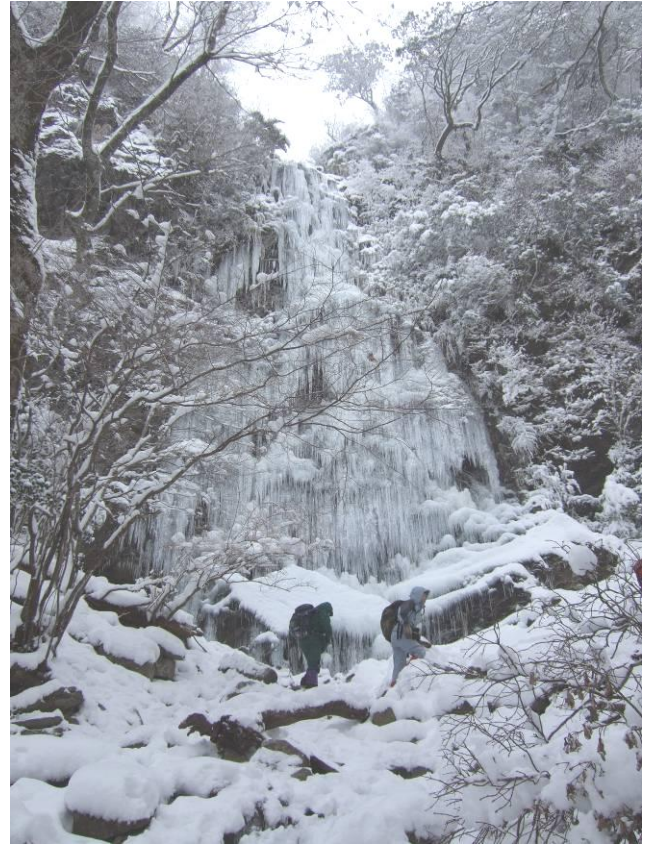
★集会・委員会のお知らせ★ 山行の一步は集会参加から

	2012/4月	2012/5月	時 間	場 所
運営委員会	11日(水)	9日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館
ひまわり集会	6日(金)	11日(金)	13:30~15:30	西諫早公民館
定期総会	7日(土)		10:00~15:00	西諫早公民館
全体集会	25日(水)	23日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館





2月19日英彦山の幻の滝



高祖山へはいきなり急登

高粗山と高地山と叶岳へのぼりました。叶岳の下り道にはこんなおじぞうさまがおられました。なんまいだ〜・・・





4月山行計画

部	技術研修部	山行部	技術研修部	ひまわり山行部	技術研修部
月・日	1日(日)	8日(日)	15日(日)	20日(金)	4/29(日)～ 4/30(祝)
山名(行事)	由布岳(1583.3m) 日向岳(1085m)	<small>がんじゃくさん</small> 岩石山(454m)	城山(勝尾)(498m) <small>しゃくしがみね</small> 杓子ヶ峰(305m)	<small>かどやま</small> 天草角山(525.9m) 荒尾岳(342m)	大崩
地 図	別府西部	英彦山	鳥栖・中原	鬼海ヶ浦 天草高浜 河浦	祝子川・大菅
集合時間	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10	西諫早駅 8:00	西諫早駅 7:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難易度	やや健脚	初心者	初心者	楽に登れます	やや健脚
帰着時間	19:00	18:00	17:00	18:00	20:00
歩行時間	6.0h	3.0h	4.0h	6.0h(含休憩)	1日目(4h) 2日目(5h)
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー又は マイクロバス	マイクロバス &フェリー	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り	大崩の茶屋
温泉	有り	有り		下田温泉	有り
参加費	5,000円	5,000円	3,000円	マイクロバス・ フェリー代実費	15,000円
申込期限	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第
集 約	佐原	田中	佐原	中村	佐原
備 考	自然観察路も 歩きます	観桜および岩 山散策	山城をめぐり ます。	天草の山、展望 もすばらしい。	アケボノツツ ジのベストタ イムです。
感想文提出	4/10	4/18	4/25	4/29	5/10

技術研修部より

4月14日(土) セルフレスキュー (JR西諫早駅9:30集合)
5月26日(土) セルフレスキュー (JR西諫早駅9:30集合)

写真展開催

3月18日(日)～25日(日) 長崎石丸文行堂 6階
県連全体で120点予定。
オレンジハイキングからは15点展示します。



5月山行計画

部	技術研修部	山行部	ひまわり山行部	技術研修部
月・日	4日(金)～ 6日(日)	20日(日)	25日(金)	27日(日)
山名(行事)	五家荘の山50k縦走	筑肥の富士3山 可也山 二丈岳, 十坊山	諫早諫江 88か所巡り 第二回目	鬼ヶ鼻岩(840m)
地図	国見岳・椎原			背振山
集合場所	西諫早駅 7:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 9:00	諫早駅裏 8:00 西諫早駅 8:10
難易度	健脚&ゆっくり	普通	ゆっくり歩き	初心者
帰着時間	21時頃	18時	17時	17時
歩行時間	5～8h(1日)	6h	3.5h	3h
交通手段	マイカー	マイクロバス	公共交通機関&徒歩	マイクロバス
宿泊施設	民宿	日帰り	日帰り	日帰り
温泉	有り	有り		有り
参加費	25000円	5000円	交通費のみ	3000円
申込期限	随時	定員になり次第	随時	定員になり次第
集約	佐原	田中	中村	佐原
備考			弘法大師の足跡をた ずねます。	
感想文提出	5/16	5/30	6/5	6/17

“楽しい登山教室” オープン!!!

日時：4月21日(土)13:00～20:00(13:30～16:30 講座)

22日(日)9:00～17:00(13:30～16:30 講座)

場所：西諫早公民館第2講座室(3F)

内容：登山技術の講習・装備の展示・DVD放映
登山の楽しみと注意点解説

参加費：1000円



オープンハイキング1回目：4月28日(土) 雲仙、矢岳・高岩山(駅裏8時集合)

2回目：5月12日(土) 佐賀、天山(駅裏8時集合)

県連第47回定期総会報告

総会は2月26日(日)長崎市民会館で開催されました。代議員20名、理事16名の出席で、当会からは代議員富永、兵庫、田中シの3名、理事坂口、松園さんが出席しました。

2011年活動のまとめと、2012年の活動方針等について審議されましたが、特に

①朝霧は、会としては多くの会員を持ちながら、労山会員22名というのはおかしい。

組織の再構築を7月の朝霧総会の時には是非行うべきだ。

②大山冬山訓練では、一歩間違えば遭難事故になる事態が起こっている。寄り合い所帯の問題もあるが、十分反省して今後活かして欲しい。

と、この2点に集中した感がありました。他には獣害による自然破壊、クリーンハイク実施時期の問題、金泉寺山小屋の件、組織数減少と予算の関連なども提起されました。

当会からは朝霧の問題の他、「雲仙新登山道開通時は、労山のPRも兼ねて県連として統一した行事にして欲しい」。また「例年九重で行われている花観賞を、雲仙でも取り入れられないか」との意見要望を出しました。これらの要望に対しては「計画の中で検討する」と回答がありましたので、行事計画の中に反映されると思います。

労山の永年会員表彰も行われ富永徳麿氏が受賞、岩田光雄氏、岩永のり子、浦田むつみ、國分徳子さんの分は代理で受賞してきました。オレンジの定期総会時表彰を予定していますので、該当者は是非出席して下さい。(兵庫 記)

多良嶽山金泉寺護持協賛会ニュース

金泉寺再興にあたって、オレンジハイキングクラブも寄進し立派に再建されました。

その後、檀家のない金泉寺を護持運営するため、多良嶽山金泉寺護持協賛会が設立されてオレンジハイキングクラブも会員になっています。

この度ニュースが発行され、送られてきましたので一部を紹介します。

平成24年春の大祭！！ ご案内

下記により24年春の大祭を行いますのでお誘い合わせの上、皆様のお参りをお待ち申し上げます。

日 時 平成24年3月31日(土)

午前10時 大般若法会

11時 講 話 長崎カルチャー山の会会長 塩田幸助様

・演 題「多良岳にお世話になって感じた事」

12時 護摩焚法会

場 所 金泉寺本堂

*多良嶽山金泉寺ホームページ (<http://kinsenji.jp/>)



2012年2月/3月の山行報



2月19日（日）

英彦山「幻の滝」（自主山行）

<参加者> 鎗水、山下、松園、兵庫 (4名)

2月15日だったか、テレビに氷瀑が映し出されていた。以前行って初めて氷瀑を見た難所ヶ滝の映像だと思っていたら、英彦山の幻の滝だということである。

18～19日に予定されていた大崩山麓「落水の滝」氷瀑山行が中止になったこともあり、代わりに、幻の滝といわれる英彦山の滝を見たいという気持ちが湧いてきた。

インターネットで調べると、幻の滝は「四王寺の滝」といい、近年テレビで紹介されて一躍有名になり、急激に登山客が増えている。そこで地元の添田町も登山道にリボンの目印を付けたり、道標の整備を行い、パンフレットまで置いているとのことである。

これなら単独行でも可能であろう。ますます見たいという欲望が強くなる。

18日朝、御館山へトレーニングと体調の確認をしに行く。御館山広場ではY氏、Yさん、Tさん、Sさんがロープワークの訓練をしている。「英彦山の幻の滝を見に行くかも知れない」と話して、階段のトレーニング場へむかう。

午後Y氏から「明日、英彦山に行きましようか」と、お誘いの電話をもらう。御館山でのPRが功を奏したのであろうか、喜んで参加させてもらうことにする。

7時30分 Y氏の車で諫早出発。昨年の英彦山山行時は、小石原の道路には雪が無かったが、今日は積雪が有りチェーン規制がされている。チェーンを取り付け別所駐車場へ。

駐車場には多くの車、皆「幻の滝」を目指したのであろう。

アイゼンを装着して奉弊殿へと向かう。私を除く3人は健脚であり、ついていけるかなと一抹の不安を持っていたが、奉弊殿の長い階段の残り50段ぐらいから、太ももが上がりなくなりキツイ。やっと登り切ったときは息苦しくめまいを覚え、頭はボーッとし、生あくびが出る。南アルプス鳳凰三山の地蔵岳と似たような症状である。

これでは一緒に登山は無理だと判断し、一人残って奉弊殿周辺を散策するか、車へ戻るかしてみんなの帰りを待つことにする。しばらく社務所の巫女さん相手に「四王寺の滝」について話をしているうち、だんだんと身体も回復してきた。

鳳凰三山は周回ルートであったが、こちらはピストンであり道も分かり易いようだ。ここで待つより、行けるところまで行って、出会ったところで引き返せばよい。そう考えて出発する。積雪の中の道は、沢山の人が通っているのでハッキリしている。

鬼杉への道の途中、衣ヶ池から滝への登山道に入る。ここ迄は大きな登りもなくスムーズに到達する。ここから滝まで40分となっているが、これが急坂でキツイ登りだ。

すれ違う下山者に何度も「滝は後どのくらいですか」と聞く。「もう半分は来ています」、「後20分ぐらいです、頑張ってください」、「滝は良く凍っています」との声を聞きながら必死に登る。

仲間はまだ下りてこない。何とか間にあって一緒に写真に写りたい、そのためには出来るだけゆっくりしていて欲しいと念じて気力をふりしぼる。最後の人に「もうそこですよ、昔の娘さん達が沢山います、賑やかな声も聞こえるでしょう」と励まされて見上げると、Y氏

が氷瀑の前に立って手を振ってくれている。「間に合った」山行の火付け役がリタイヤすれば何ともサマにならないと思っていたので、ホットすると同時に安堵感で全身の力が抜けていくようであった。

滝は高さが30m、巾11mで氷のつららと雪が幾重にもかさなり、豪華な氷のシャンデリアである。難所ヶ滝を初めて見たときも感激したが、それよりも一回り大きくしたような「幻の滝」見事なものである。

つららの先端を折り口に含む。氷が口の中でじんわりと溶けていくように、途中の苦しかったことや目の前の見事な景色の感動が、脳裏に広がっていく。

健脚組も、もしかすると私がマイペースで登ってくるかも知れない、と気に掛けながら行動してくれたのであろう。その気持ちに感謝し、一緒に氷瀑を背に写真に写った。

(兵庫 記)

2月24日(金)

諫江88ヶ所巡り

(参加者) 兵庫・松尾(敏)・中里・佐原・中村・林・田中(紘)・下釜・林田・山口・
(外) 立野・大庭 2名 計 12名

3本の線香の揺らぐ煙に、般若心経の読経流る。弘法大師の足跡、諫江88ヶ所を訪ねる一日です。第一回目は諫早の古刹4ヶ寺を含む17札所を廻りました。中にはお大師さんは諫早水害で流され立札のみという所もありましたが、どこの札所も掃除がきれいになされ、地域の人の信仰心の厚さを感じました。次回からも本野、森山、戸石、矢上他と点在してある札所を訪ねる旅を計画中です。この機会にお大師様の前で合掌し一緒に般若心経を唱えるゆとりをもってみませんか。

山口いつ子

2月26日(日)

高祖山、高地山、叶岳

(参加者) 川原、佐原、中須賀、山下、中村、田中(紘)、林、山口、下釜、中野、
円能寺(外)、高森(外)、(12名)

(感想)

2, 3日前に「高祖山に行きませんか」の電話があり、なにも用事がなかったので「はい、行きます」と返事した。オレンジニュースをみると高祖山416m、高地山419m、叶岳341m。これなら私も大丈夫だろうとルンルン気分だった。それに急に言われたから多分感想にはあたらないだろうとの計算もあった。しかしオレンジは甘くなかった。バスに乗ったとたん「中野さん、感想ね」「エーっ」きわめつけに「めったに来ないから、来たときには当たっさ」、返す言葉ナシ。

高祖山は天平、鎌倉時代に山城があったとか。まず、高祖山から出発し高地山、叶岳へと向かったがその間、下ノ城跡、神社、鳥居、などを多く見かけた。低山と高を括っていたが枯葉を敷き詰めた樹林帯をゆっくりと下ったり、尾根に出たり、急坂を登ったりと変化に富んでいた。それぞれの山頂には温度計があり3度、4度、と示していただけに、ひんやりとした中、うっすらと汗をかき、枯葉を踏みしめながらの歩行はとても気持ちよ



かった。最終地点の叶神社はその名のごとくなんでも願いが叶うとのこと。「いつまでも山に登れますように」、「ピン、コロといきますように」との願いをした。(ちょっと願いが情けなくなったとは思いますが。) 今回も全員無事で下山できたことが一番のご利益だと思う。

下山後は佐里温泉へ。いつもより値段は高かった(600円)がそれだけにいろいろなお湯があった。私たちが入ったところには湯船がきれいな花で囲まれてリッチな気分になりゆっくりと疲れを癒した。最後には裸で石の廊下を伝ってヒノキ風呂にまで走りこんで“まー値段だけあった”とこれも満足だった。

道を間違えないように絶えず磁石を見、時間配分に気を使いながら先導されるYさん、そしていつも安全に気を配りながらも楽しく過ごさせてくださるリーダーの皆さんありがとうございます。(中野 記)

3月3日(土)

黒木梅園(鍋交流会)

(参加者) 中須賀、川原、小山、兵庫、中里、佐原、田中静、林、下釜、松園(10名)

(行程) 西諫早駅発 9:00—黒木梅園着 10:00

黒木梅園発 13:40—諫早着 14:40

(感想) 黒木の公民館を労山小屋として譲り受け、多良山系への登山基地として、会員に長年親しまれていたが、小屋も老朽化により廃屋となって取り壊された跡地は、キャンプ地として整備される計画もあったが、利用もないまま、放置により茅が生い茂る荒地になっていた。



平成22年の春から、この荒地の整備作業が川原前理事長、坂口事務局長の声掛けでスタートした。県連の理事を中心にオレンジの会員の応援も受け、1年がかりで整備をしてきた結果、昨年1月15日黒木梅園が誕生した。

今日は1年を経て、猪の被害にも負けず新芽を伸ばした梅園で、県連傘下の山の会が鍋で交流会をすることになり、7団体28名の会員が集まった。

二日ばかり雨続きだったので天気が心配されたが、今日は久々の良い天気である。三々

五々集まってきた各山の会のメンバーは、早い組からすでに作業にかかっていた。

今日は作業司令塔の坂口さんがいない。ちょっと心配であったが、其々が自分の持ち場を探して作業に取り掛かる。草取り組み、水路整備組み、たき火準備組み、焼き芋作り組み、鍋作り組みなど、黙っていても作業は粛々と進んだ。

私は前夜から作ってきたぜんざいの仕上げと鍋の準備に、あゆみの永野さん、石井さん、南陵の泉さんと一緒に取り掛かった。彼女らは鍋作りには慣れており手早い。

木漏れ日の立川さんから猪肉の差し入れがあり、ごぼうとネギだけの猪鍋を別に作ったが、これは男性軍に特に好評だった。持ち寄りの食材で4つの鍋が出来上がり、昼は皆で鍋を囲んだ。皆で食べると本当に美味しい。座る場所がないので立って食べたが、このスタイルは食べる量が多くなる。中里さんと私は立って食べていたので、人の倍は食べたかも知れない。お互い体重が……。 (夕食は抜きにした)

食後、あゆみの佐藤さんの音頭で各会紹介が行われ、オレンジは兵庫さんが代表で挨拶した。その後、参加者全員で円陣を組み、手をつないで多良岳賛歌を4番まで歌った。

中高年のおじさん、おばさんが若人に帰ったみたいで、なかなか良い感じであった。

他所の会との交流があまりない昨今、たまにはこんな交流会があってもいい。

お腹いっぱい幸せ感に満たされて帰路に着いた。皆さんお疲れ様でした。(松園 記)

3月7日(水)

多良岳(大モミの木)中岳尾根道縦走(自主)

(参加者) 松園、下釜、金丸、山下 (4名)

みたち山歩きの帰り際に明日マンサクとセリバオーレンを見に行きませんかと誘いがありました。

天気は大丈夫なのかなと気にしながらいくことにしました。黒木を目指し出発。山に、入る前に県連の梅園に立ち寄りしました。道路わきに車を止めて上がってみました。四日前に畑の草取りをしたので立派に成長し根づいた梅木を観察しました。そこから黒木の駐車所に車を止めて小川内溪谷まで歩きました。すぐそばには切株の丸た木に沢山の椎茸がつい



ていた。食べ頃で美味しいそうな椎茸

です。少し壊れてそうな木の橋をこわごわ渡って五ヶ原登山口を目指します。登山口には、セリバオーレンの、白い小さい花が咲いていました。ここから進路を大モミの木へとむかいます。前日から降った、雨で川の水がふえていました。流れが早く増水した川を靴と靴下も脱いで渡りました。帰りはここは通らないよと聞いてホッと安心。ここからまた大モミの木目指します。急斜面と道標をさがしながら歩くこと45分。大モミの木がそびえ立っ

ていました。木の下で小休憩をしました。松園さんから、かんころもちを、いただき写真撮影をしました。モミの木のパワーをもらって再び登山開始。今度は中岳方面をめざします。急

な斜面と痩せ尾根を必死で登って行きました。中岳の尾根道にはなかなか着かず前に行く山下さんに何回も「まだね～？、まだね～？」と言いつつついて行きました。そのうち、お昼のサイレンが鳴りました。おなかはずいてきたが何とか、かんころもちのパワーで持ちこたえました。12時40分頃やっと中岳の尾根道につきました。少し下った所で林の中にすわり食事をしました。西の越から下ったけれど道がずいぶん荒れててえぐれたようになっていました。前来た時と随分違った感じがしました。斜面にはオオキツネノカミソリの葉っぱがきれいにでていました。また、花の咲くころに来たいなあと思いました。まるで、道が沢ようになってしまったところを用心しながら八丁谷についたのは3時位でした。一緒に行った3名の方々お世話になりました。ありがとうございました。



(下釜 記)

3月11日(日)

経ヶ岳(1075.7m) 笹岳(890m)

〈参加者〉山下、田中(静)、川内 3名

〈行程〉西諫早(山下邸) 8:30～諫早(記念病院横) 8:40～中山キャンプ場(太良町) 9:50
→登山口 10:10→多良岳役の行者行きと笹岳南峯行きの分岐(レスキューポイント2) 10:20
→笹岳南峯 11:10→中山越 11:50→昼飯 12:00—12:25→経ヶ岳 13:05—13:30→中山越→中山
キャンプ場 14:45～小長井のオガタマの木 15:40～諫早湾干拓道路～西諫早 17:00

〈感想〉

経ヶ岳には高い山の訓練のため何回か登ったが、最近屋久島の訓練のため一昨年10月以来である。私は山でバテテしまい皆さんに迷惑をかけたので、体力の低下を歳のせいばかりにははいけないと思い、御館山歩きで約4kgの重りをリュックに入れて訓練するようにした。初めは重くてきつかったが最近あまり重さを感じなくなったので、力が付いたのか知りたくなった。そこで山下さんに経ヶ岳に登る時誘ってくれるように頼んでいた。

今回の経ヶ岳は私にとって初めての佐賀県太良町の中山キャンプ場から、経ヶ岳を目指すコースである。途中車の中から多良山系の最高峰を誇るに充分な風格のある大きな岩峰、経ヶ岳の姿が見えたが、こんなに全うに経ヶ岳の姿を見たことはなかったので今日の登山が益々楽しみになった。

登山口には貸切バスも止まっており登山者が多く、多良岳山系の山の人気解る。

レスキューポイント2を過ぎると登山道もはっきりせず結構険しい。風が強くビュービューと鳴っている。2～3カ所で木々の間の青空にマンサクの花の黄色が映えるのを見ることが出来嬉しかった。今日は前に山下さん後ろに田中さんとベテランに囲まれて心強い限りである。

やっと笹岳南峯に着き休憩していると、経ヶ岳登山を日課にされている？岩永さん達に会った。経ヶ岳も強風の由にて気をつけて行くよう励まされた。見慣れた中山キャンプ場、金

泉寺方面、経ヶ岳への分岐である中山越を過ぎ、平谷越への分岐を過ぎると風が益々強くなり寒くなった。風が当たらない所で昼飯を摂り、着込んで出発。

経ヶ岳頂上付近になると勾配もかなり強くなり一部ロープ伝いに岩場を越えることになる。登山口に止まっていた貸切バスの太宰府からの30人の団体が岩場を降りるのを待ったが、皆高齢者ばかりで私より歳のようなのである。私も負けてはいられないと思った。

頂上は私達3人と後からこれまた経ヶ岳が日課の？Mさんが登ってこられた。思いのほか風は強くない、しばし展望を楽しんだ。

下山は中山越から少し下った所から険しい所がないコンクリートの山道のコースだった。さっきの団体さんはきっとこの道を登ったのだろうと思った。

帰りは小長井町の天然記念物である「おがたまの木」を見に行った。丁度花が咲いており、樹齢1000年になる大木で感動した。それに干拓堤防道路にも回ってもらった。以前オレンジで計画されたがそれに参加出来なかったので一回行って見たかった所である。

今回の経ヶ岳登山で私はちょっぴり自信を取り戻すことが出来ました。山下さん田中さんお世話になり本当に有難うございました。 (川内 美智子 記)





小長井のオガタマの木樹齡推定 1000 年 ・ 3 月 13 日



西の越のオオキツネノカミソリの葉がでだした



小川内にさいてるセリバオーレン

おれんじニュースNo265	
発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡正廣
編集責任者 及び 原稿送付先	山下ちず子
発行年月日	2012.3.21
財政担当	
郵便振替講座	
ホームページ	http://orangehikingclub.web.fc2.com/



♪ある～日♪御館山で♪
ツチグりを♪みつけました。